

ひがし 58 / 10 / 15

広報 しらかわ

No. 274

人口の動き

— 9月末住民登録人口から —

世帯数	935世帯
人口	3,718人
転入	7人
転出	7人
出生	3人
死亡	3人

先月と比較して0人増
 昨年同月と比較して23人減

■発行 東白川村役場 ■編集 東白川村役場総務課 ■住所 〒 509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎<057478> 3111・内線34 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社



抜けるように澄みきった秋晴れの空の下、昨日の台風10号による大雨の騒ぎがなかったかのように、9月29日神田神社のお祭りが行われました。

子ども会が練り出した5基のみこしや、青年団員によるしし舞などが練り歩きました。

また、夜には中学校体育館で関西漫才のチャッキリ娘、歌謡ショーなど盛りだくさんの行事で楽しめました。

写真—子ども会の奉納みこし役場前参道で

おもな内容—

- 村民の歌 “みどりの里、と決まる”……………P2~3
- スポーツの話題……………P4~5
- 村の教育委員が決まる……………P6
- 秋の交通安全運動
 キャラバン隊来村……P7
- 私の作品
 募らしのカレンダー……P8
- けいじ板はP4~6の下欄

東白川村民の歌

“みどりの里” と決まる みんなで歌える村の歌

東白川村民の歌「みどりの里」がこのほど決まりました。これは、八人の代表者で組織する「東白川村民の歌審査委員会」が進めていたものです。歌詞は昨年公募した二十四点の中から、東白川小学校の校歌の作者でもある神土平の大坪久美さんの作品が選ばれ、委員会で補作し、作曲は本村出身の藤掛廣幸さんにお願ひし完成。今回の発表となったものです。

「みんなで歌える村の歌が欲しい」……これは、村民みんなの願ひでした。

それに応えるため、村では、「心のかよう村づくり」を指標に村民の歌をつくる段取りを進

めてきましたが、このほど作詞作曲が完成し、発表することになりました。

村では、明るい歌声が村づくりのさわやかな息吹となって響き渡ることを期待しています。

応募歌詞24点 委員会で審査

昨年十月から十二月にわたって「東白川村民の歌」の歌詞の募集をしたところ、皆さんの関心が高く、十七人のかたから二十四編の作品が寄せられました。応募作品については、八人の審査委員によって審査が行われました。

① 審査の基準は、

② 東白川村の美しい自然や風土を歌詞の中に盛り込み、村のイメージを彷彿（ほうふう）させ、それをたたえるもの

③ 愛村意識に支えられた未来への希望を湧き立たせるもの

③ いつでも、どこでも、だれでも口ずさめる明るくて健康的なもの

の三点でした。

どの作品もそれぞれ特色があり、優れたものばかりでしたが審査は、厳正にしかも慎重に行われ、その結果、次のように入選及び佳作が選ばれました。

入選 大坪久美さん

（神土・平）

佳作 村雲きりさん

（神土・中通）

佳作 田口安幸さん

（越原日向）

入選作は、審査委員会でその一部を補作し、題名を「みどりの里」として「東白川村民の歌」に採用することに決定しました。作曲は、村が生んだ新進作曲家藤掛廣幸さんをお願いし、このほどでき上りました。軽快なりズムとさわやかなメロディーは、きつと皆さんに親しんでいただけるものと信じます。

これから有線放送やその他のさまざまな機会を通して、この

村民の歌「みどりの里」の普及に努めますが、ふるさとへの愛着を感じさせるこの歌は、村のあちこちで口ずさまれることになるでしょう。

作曲者藤掛さん のよこが

○東白川村越原日向出身

○愛知県立芸術大学作曲科及び同大学院卒業

○音楽之友社三十周年記念コンクール入賞

○毎日音楽コンクール作曲部門入賞 管弦楽曲「挽歌」

○第一回マンドリン作曲コンクール入賞 「バストラーレフアンタジー」

○昭和五十年、五十一年笹川賞連続第一位入賞 吹奏楽曲「ノスタルジック・ラブソング」

○岐阜県第一回文化奨励賞受賞

○昭和五十二年国際エリザベート音楽コンクール作曲部門グランプリ受賞 管弦楽曲「繩文譜」

○昭和五十五年三月NHKテレビ銀河小説「おまさ」BGM作曲



作詞者—大坪久美さん



作曲者—藤掛廣幸さん

東白川村民の歌

作詞 大坪久美
補作 村民の歌審査委員会
作曲 藤掛廣幸

みどりの里

元気よく ♩ = 136 Ca

Musical score for 'みどりの里' in G major, 4/4 time. The score consists of six staves of music with lyrics underneath. The lyrics are: (1) やまの みどりに つつ 生まれ て みつば つつじが め に しみる せお と やさしい ふる さと に と おい あ の ひの こもりう た わか あゆ おど る あ あ ひが し し ら か わ (2) わか

みどりの里

山の緑に つつまれて

みつばつつじが 目にしみる

瀬音やさしい ふる里に

遠いあの日の 子守唄

若鮎おどる ああ 東白川

若い力が 土の香に

もえて希望の 糧となる

汗のしみこむ ふる里に

今日のしあわせ ありがとう

茶の花かおる ああ 東白川

語りつがれた 碑いしに

遠い歴史の かげしのぶ

みんなで築く ふる里の

あしたに残そう 足のあと

ハナタキのびる ああ 東白川



昨年に続き優勝を果たした陰地上チーム＝越原運動場

2連勝の陰地上チーム

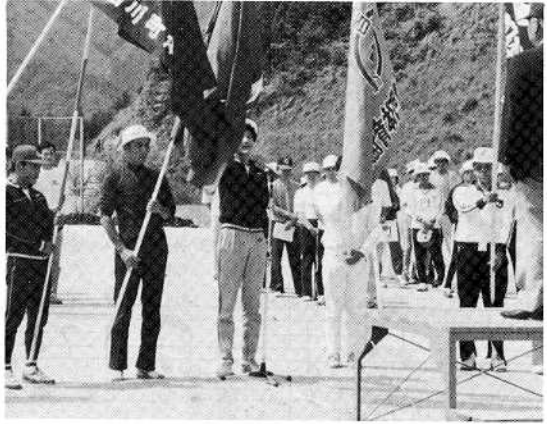
婦人ソフトボール大会

第七回婦人ソフトボール大会は、当初予定されていた七月二十四日が雨のため八月六日から会場を総合運動場と、越原運動場の二会場に分け、ナイターで行われました。

この大会は、日ごろスポーツになじむ機会の少ない婦人の生活に、スポーツを取り入れることにより体力と健康を保持増進させ、生活をより明朗にしようとすねらいがあります。

しかし、この大会の現況は日常スポーツになじみのある越原地区から五チームの参加があったものの、神土地区から二チーム、五加地区から一チームの参加がやっと、という現状には寂しさが残りました。結果は、八月二十日に越原運動場で決勝戦が行われ、陰地上対大明神が対戦し、七対二で陰地上チームが二連勝。

スポーツの話題



郡陸上競技大会の開会式＝東白川小校庭

3種目と総合で優勝

加茂郡陸上競技大会

第十四回加茂郡陸上競技大会が、六月十九日東白川小学校校庭で開かれ、郡下七町村の精鋭が集まり熱戦を展開しました。

ことは、大会の準備を進める傍ら出場選手の強化をねらって練習を重ね、二十種目に三十七名の選手を送り込むことができました。

当村代表チーム、選手も充分実力を発揮し三種目に優勝、みごとに総合優勝を果しました。

本村選手の成績(敬称略)

- ◆優勝▽一般男子走高跳―早瀬尚史(神付)▽一般女子百メートル―粥川奈美(陰地)▽壮年走幅跳―松岡公男(大明神)
- ◆二位▽一般男子百メートル―島倉宏之(平)▽一般男子五千メートル―安江宏(神付)▽一般女子走幅跳―多賀麻奈美(平)▽一般女子砲丸投―松岡成子(陰地)▽一般女子四百メートルリレー―粥川奈美、多賀麻奈美、安江千伴子(下親田)、安江恵(下野)
- ◆三位▽一般男子八百メートル―安江宏▽一般男子五千メートル―内木正男(栃山)▽壮年走幅跳―高木夜(黒淵)▽男子四百メートルリレー―島倉宏之、今井克幸(下野)、村雲知己(西洞)、村雲晴夫(神付)

◆総合優勝―東白川村

■戸籍の窓 九月―敬称略



誕生おめでとう
ございます

(下親田) 安江 和良 (優)

良枝 (長女)

(大明神) 安江 信子 (瑞穂)

信子 (三女)



おくやみ
申しあげます

鈴木銀二郎 87歳(陰地)

土井 量一 84歳(柏本)

今井 瀧男 81歳(大沢)

栗本 勇一 88歳(平)

■善意の寄付―敬称略

〔社会福祉関係指定寄付〕

現金十万円―安江建一(白川町上佐見)

〔東白川中学校へ〕

カラーテレビ一台―財団法人教育設備助成会、少年朝日

年鑑二冊―榊間一吉(平)

■郵便局だより

10月は郵便貯金月間

郵便貯金は、明治八年の創業以来百有余年にわたり、常にみなさんに最も身近な「く

3種目に優勝

可茂地区体育大会

七月三十一日、美濃加茂市を中心に開催された第十五回可茂地区体育大会には、先の加茂郡大会で上位入賞した五種目(一般男子バスケット、家庭婦人バレー、剣道青年の部、卓球加茂郡選抜、クレー射撃加茂郡選抜)が出場権を獲得し、四十三名が加茂郡代表選手として出場しました。

その結果、次のとおりの成績を収めました。

本村選手関係分のみ(敬称略)

◇優勝▽一般男子バスケット
—島倉宏之ほか十三名▽剣道青年の部—安江誠ほか四名▽クレー

—射撃トラップ団体—安江正好ほか三名、同個人—松岡重治
◇二位▽卓球家庭婦人(加茂郡選抜)—五斗あい、桂川よし
▽クレー射撃スキー団体—安江正好ほか三名
◇三位▽卓球一般男子(加茂郡選抜)—安江弘武、今井照善

家庭婦人バレー(松岡成子ほか十四名)は一回戦で敗退したものの良く健闘しました。

大会出場にあたり、ご理解、ご協力いただいた関係者、ご家族の皆さん、ありがとうございます。



安八郡神戸町民体育館で—対岐阜卓戦

厚い上位のかべ

岐阜県体育大会

第三十五回岐阜県体育大会は九月二十五日、大垣市を中心に開催され、本村からは郡大会、地区大会を勝ち抜いた一般男子バスケット、クレー射撃、陸上競技の三種目に十九名が代表選手として出場し健闘しました。

結果は、クレー射撃トラップの部が五位に入りました。

出場選手は次のとおり(敬称略)▽バスケットボール—島倉宏之ほか十三名▽クレー射撃—中島克巳、松岡重治▽陸上競技—早瀬尚史、松岡公男、粥川奈美

投げた・打った・走った

一般ソフトボール大会
村民親睦 一壮年



一般ソフトボール大会で優勝した平中チーム

第十五回一般と第九回壮年ソフトボール大会は、九月十一日開始前から断続的に降る雨の中、

一般の部は小学校校庭、壮年の部は総合運動場で開幕しました。進行するにつれて、グラウンド状態が悪化し熱戦をくり広げる選手からは続行を望む声もありましたが、正午前に中止し十八日に持ち越しました。

当日は、晴天に恵まれそれぞれ再会し、一般の平中チーム対大口、西洞チームの決勝戦は抽選で優勝を決める大会史上初めのケースもありました。

当日の結果は、次のとおりです【一般】▽優勝—平中▽二位—大口西洞▽三位—平東、同陸地上【壮年】▽優勝—平西▽二位—大明神▽三位—平東、同親田A

たいせき

らしの中の貯金」として親しまれ、広くご利用いただいています。

また、預けられた貯金は国の財政投融資の主要な原資として、住宅の建設をはじめ生活環境の整備、道路の拡充など住民福祉の向上と経済の発展に大きく貢献しています。

本村も、道路の新設、改良をはじめ、学校の建設などこれまで九億円を超える融資を受け、身近で活用されています。

十月は「郵便貯金月間」です。この機会に郵便貯金についての認識をより深めたいものです。

■県立多治見看護専門学校 学生募集について

- ①募集人員—三十五名
 - ②修学年限—三年
 - ③受験資格—高等学校卒業者(昭和五十九年三月卒業見込の者を含む)
 - ④試験期日—昭和五十九年一月二十三日、二十四日の二日間
 - ⑤願書受付期間—昭和五十八年十二月一日から昭和五十九年一月七日まで
- そのほか、手続、申込方法など詳細は、多治見市前畑町五十一—五、岐阜県立多治見

村教育委員が決まる

再任一人、新任二人 ご活躍を期待します



田口耕作さん (中谷)

教育委員会委員として、これまでご尽力いただいた木村成人さん、高井好一さんの退任と、田口耕作さんの任期満了に伴い、九月二十七日に行われた村議会定例会において、つきのかたがたが選任同意されました。



熊崎道一さん (平)

田口耕作さん(再任) 中谷 熊崎道一さん(新任) 平 田口勝司さん(新任) 大明神



田口勝司さん (大明神)

教育委員は、学校教育をはじめ、青少年教育、婦人教育、公民館事業など教育行政全般にわたり活躍していただくもので、任期は四年間です。

田口耕作さんは、昭和三十一年十月から長年にわたりご苦労をいただいています。

みなさん、それぞれ教育行政全般にわたり識見が豊富であることから選任されたものです。

今後の、ご活躍が期待されます。

10月11日～20日は「全国防犯運動」です



空き巣対策について考えてみましょう。

わが家の空き巣対策4か条

他人の家に忍び込んで盗みを働く——空き巣ねらいは、いわばドロボーの「プロ」による計画的な犯罪です。それだけに、留守中の守りは「確実な戸締まりと、ご近所の協力」を徹底させたいもの。家を留守にするときは、必ず次の四点に注意しましょう。

- 1 カギをかけたかどうかもう一度 確認を!
- 2 玄関にはCPマーク
- 3 空き巣ねらいの被害のうち約四割は、カギをかけたところから侵入されています。

空き巣ねらいの被害のうち約四割は、カギをかけたところから侵入されています。玄関や勝手口ばかりでなく、応接間をはじめ浴室の窓、トイレの高窓や二階の窓もよくねらわれます。「まさか、こんなところから……」といった勝手な思い込み

こくちばん

看護専門学校、電話〇五七二二三—二一四番へおたずねください。

■岐阜職業訓練短期大学校 学生募集について

- ①募集人員—生産機械科、金属成形科、自動車科、塗装技術科、印刷技術科、電機科各二十名。
- ②応募資格—高等学校を卒業した者(来春卒業見込みの者を含む)またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者。
- ③願書受付—昭和五十九年一月二十三日から二月十日
- ④試験期日—昭和五十九年二月二十二日

そのほか、手続、申込方法など詳細は、揖斐郡大野町古川一―二、岐阜職業訓練短期大学校—学生課、電話(〇五八五三)四―二〇二〇番へおたずねください。

■訂正とお詫び

先月号の四ページ、けいじ板の中で(神付)今井悦郎、清子となっていました。「さち子」の誤りでしたのでお詫びして訂正します。

◆ 読書、スポーツの秋です村内行事に参加しましょう。

秋の交通安全キャラバン隊

知事のメッセージなど伝達

秋の全国交通安全運動の初日
九月二十一日の夕方、交通安全
運動キャラバン隊が本村に到着
し、役場前で知事のメッセージ
など伝達式が行われました。

これは、秋の交通安全運動の一環として行われたもので、交通事故の増加傾向に歯止めをかけ、安全で快的な交通社会を実現するため、二百万県民一人ひとりに安全意識を高め、正しい

交通ルールとマナーを
実践していただくよう
呼びかけるものです。
県事務所長が知事の
メッセージを受け、可
児郡、加茂郡の市町村
を訪問し伝達してきた
もので、最後に村長が
交通安全に対する決意
を宣誓し式を終わりました。

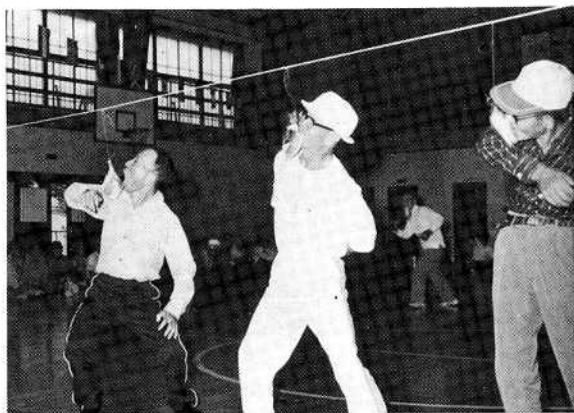


知事からのメッセージ伝達式＝役場前で

トピックス

トピックス

トピックス



手をつかってはだめですよ＝パン食い競争の一コマ

第9回老人まつり

腰を伸ばしてヨーイ・ドン

九月十五日、敬老の日に東白川中学校体育館で第九回老人まつりが開かれ、村内のお年寄りや来賓ら約三百人が参加し、玉入れやボール送りなど八種目の競技を楽しみました。

数年前からのゲートボールの普及により、運動する機会が多くなったお年寄りはこの日ばかりはと、年齢を感じさせないはつらつとしたプレーが続出し会場をわかせました。

「誇りをもって生きよう」「老いたるはなお美わし」と、この大会のスローガンにかかげられたとおり、老後を誇りをもって美しく生きてください。

手前みそ

「手前みそを並べる」
は、自分で自分をほめること、自慢すること。「あの人の話は、手前みそばかりなので、どうも聞き苦しい」と言ったりしますが、この表現を用いるとき、「手前みそ」そのものを、はっきり知って使っている人は少ないようです。

「手前みそ」の「手前」は、「手前弁当」と同じで、手製、自家製ということです。朝ご飯にはみそ汁がつきものですが、自家製のみそで作っている家庭は、今ではごくまれになりました。

みそは蒸した大豆に米、麦などの麴(こうじ)と塩を混ぜ、発酵させて作ります。



言葉の履歴書

東北などの寒地で作られる赤みそは塩辛く、関西のような暖地で作られる白みそは甘みが多くなっています。

「手前みそで塩が辛い」ということわざは、塩味が強すぎるみそでも、自分が作ったものはいまいと思うこと。「自画自賛」という言葉と似た意味に使われます。

「手前みそ」に限らず、自分のことは自分ではなかなか分からないものなのです。

国鉄再建監理委員会

国鉄再建策を政府に意見具申するため、亀井正夫氏(住友電工会長)を委員長とする学識経験者五人で構成されている審議機関。

国鉄の赤字は、一日当たり実質六十億円にも上っており、このままでは国の財政に重荷となるばかりでなく、最終的には国民の大きな負担となつてはね返ってくるの目に見えています。このため五十七年七月に出された臨時行政調査会の基本

答申は「国鉄の分割、民営化による再建」を打ち出し、そのための具体的な方策を審議・決定する機関として、総理府に国鉄再建監理委員会を新設するよう求めました。

六月十日の初会合で、中曽根首相は「国鉄の経営全般にわたる具体的な実効性のある再建対策案を策定していただきたい」と要請。これを受けて、効率的な経営形態の確立など健全な国鉄事業の運営を実現するための体制を、六十二年七月末までに整えることを目標としました。

このため、これから二年ぐらいの間に、必要な国鉄再建策をとりまとめることになっています。

暮らしのカレンダー

※胃ガン検診

- ・とき 11月2日 8:30
- ・ところ 農協越原支所
- ・対象者 前回受診できなかった人

※眼底検査

- ・とき 11月4日 10:00
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 糖・血圧管理BCD
- 対象者には個人通知します

※村美術展

- ・とき 11月3日～6日
- ・ところ 村民センター
- 文化協会、小学校、中学校からの作品を展示します

※村漆器展

- ・とき 11月3日～6日
- ・ところ 村民センター
- 村内のいろいろな漆器を展示します

※中学校文化祭

- ・とき 11月6日
- ・ところ 中学校体育館
- 演劇と作品を展示します。

※慰霊祭

- ・とき 11月10日
- ・ところ 慰霊塔前
村民センター

※三種混合予防接種

- ・とき 11月11日 13:30
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 S54.10.1～56.9.30生まれの未接種者と追加接種者

※読書講座

- ・とき 11月11日 13:00
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 読書講座生

※不燃物収集

- ・とき 11月11日
- ・ところ 村内各集荷場
- ガラス類、金物類に分けて世帯主の住所氏名を必ず書いて出してください

※村民卓球大会

- ・とき 11月13日 9:00
- ・ところ 中学校体育館
- ・対象者 一般
- スポーツの秋です、ぜひあなたも参加を!

※妊婦学級

- ・とき 11月16日 9:30
- ・ところ 母子センター
- ・対象者 後期妊婦

※小・中学校父親研修会

- ・とき 11月20日
- ・ところ 小学校体育館
- ・対象者 小学校、中学校PT A父親会員

※乳児相談

- ・とき 11月24日 13:00
- ・ところ 母子センター
- ・対象者 6～8か月児

※一般健康相談

- ・とき 11月25日 13:00
- ・ところ 越原公民館
- ・対象者 希望者

※芸能発表会

- ・とき 11月27日 12:00
- ・ところ 村民センター
- 文化協会、各サークルのみなさんが一年間の練習の成果を発表します。ご声援を!
- ▶文化財保護強調週間11月1日～7日、郷土の文化財を大切に!



あなたの作品をお寄せください。
 ・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
 ・毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

○硝煙止み聞ひろがれる棉畑に花白かりしことも忘れず

草刈りに刺されし蜂なればぞ秋の味覚に思ひを託す

碧き眼の娘らも交りぬ八幡の街にひろがる踊りの人波

○妻にとり洗濯ばさみは朝に晩に侏儒の友のごとく手にしつ

朝なさな会ひたる犬を伴れし婦人この頃会はず葛の花咲く

○わが病める時を案じつ思出のゆかた解く手につる佗しき

“女工哀史” 思い浮べつバスに過ぐ野麦峠は秋雨の中

保育園改築現場の土方衆昼餉に黒き土瓶煙らす

○晩秋蚤保温ほど良き蚤室に上猿手助く父母偲びつつ

○門灯に草花光る雨の夜を猪おどさむと畦道に竹つ

百日紅慰霊の塔に咲き出でて飛驒の川浪蒼くよどめり

○尺余りの尾羽落して換羽期の錦鶏哀れよちよち歩く

還暦を越えたる義父は地下足袋に足堅めつつきびきびと発つ

訪へば古老はすでに門に出て吾を迎らるるよ杖を突きつつ

百姓を踏み台とせし封建の安定政権ひらきしは家康

○ステンレスの軽き鍬買ひ秋野菜育てゆくのが精一ぱいか

家康流行時代に想ふ

- 田口 良三
- 山川 洸
- 桂川 熊吉
- 在浦和市
- 在高山市
- 安江と志江
- 古田 愛治
- 三戸 きり
- 小池いちの
- 田口 一枝
- 安江 守平
- 安江 澄
- 今井 統子
- 伊藤 重雄
- 田口 圭二
- 安江 幸
- 安江 香
- 田口 巽午